

**授業概要**

イベリア半島に位置するスペインは、イスラム勢力の侵略や新大陸の発見など、他のヨーロッパ諸国には見られない歴史を辿ってきた。本授業においては、スペインのそうした独自性を反映する文学作品を主な考察対象に、スペイン文学の特殊性について講義する。騎士道物語・武勲詩・ピカレスク小説・内戦文学・クロニクル・キリスト教神秘主義など、スペイン文学はさまざまなジャンルによって構成されている。各ジャンルを代表する文学作品を断片的に読み込むと同時に、作品が書かれた時代背景や作品の特質を解説していく。

**授業計画**

第 1 回	スペイン文学の前提知識
第 2 回	内戦文学（ラファエル・アルベルティ）
第 3 回	中世の武勲詩（『エル・シードの歌』）
第 4 回	ピカレスク小説（『ラサリーリョ・デ・トルメスの生涯』）
第 5 回	騎士道小説（『ドン・キホーテ』）
第 6 回	コメディア（ロペ・デ・ベーガ）
第 7 回	ロマン主義（ベッケル）
第 8 回	新大陸の発見とクロニクル（ベルナル・ディアス・デル・カスティリョ）
第 9 回	モデルニスモと詩の刷新運動（アントニオ・マチャード）
第 10 回	戦後文学（ミゲル・デリーバス）
第 11 回	バロック詩（ルイス・デ・ゴンゴラ）
第 12 回	ドン・ファン神話（ホセ・エスプロンセダ）
第 13 回	近代演劇（ガルシア・ロルカ）
第 14 回	ミステリー文学（トニ・ヒル）
第 15 回	中世道徳譚（『ルカノール伯爵』）
第 16 回	筆記試験

**到達目標**

- 様々なジャンルの文学作品を読みこなすことで、スペイン文学の特殊性が体系的に把握できる。
- それぞれの文学作品が書かれた経緯と、それを取り巻く歴史的社会的背景が理解できる。
- 直感や感情によってではなく、論理的思考にもとづいて文学作品を解釈できる。

**履修上の注意**

- 講義を通して気になる作品があったら、自発的に翻訳書を読むようにすることが望ましい。
- 受講生の関心と理解度により、授業で扱うテーマは入れ替わる可能性がある。
- スペイン語の知識は必要ない。

**予習・復習**

- スペイン文学の特殊性を理解するために、配布する文学作品の断片を復習として読み直すよう心掛ける。
- ニュースやインターネットなどでスペインの話題に触れる機会があったら、積極的に情報を把握する。

**評価方法**

学期末試験 80%、授業内コメント 10%、授業態度 10%

**テキスト**

授業ごとにプリントを配布する。